

第11期決算公告

2019年6月25日

福岡市博多区博多駅前一丁目21番28号
株式会社長谷工コミュニティ九州
代表取締役 高山 直樹

貸借対照表(2019年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	646,926	流動負債	269,577
現金預金	410,325	工事未払金	53,535
完工未収入金	204,955	営業未払金	53,877
営業未収入金	16,358	リース債務	5,368
貯蔵品	86	未払金	19,768
前払費用	6,144	未払費用	95,129
未収入金	8,273	未払法人税等	3,861
立替金	785	未払消費税等	15,029
		預り金	5,058
		賞与引当金	17,952
固定資産	67,153	固定負債	14,401
有形固定資産	37,127	リース債務	10,938
建物	20,301	資産除去債務	3,464
工具器具備品	1,832		
リース資産	14,993		
		負債合計	283,979
		純 資 産 の 部	
無形固定資産	785	株主資本	430,100
ソフトウェア	785	資本金	100,000
投資その他の資産	29,241	資本剰余金	350,491
出資金	3,650	資本準備金	100,000
差入敷金保証金	12,829	その他資本剰余金	250,491
長期前払費用	1,684	利益剰余金	△ 20,391
繰延税金資産	11,078	その他利益剰余金	△ 20,391
		繰越利益剰余金	△ 20,391
		(当期純利益)	(53,576)
		純 資 産 合 計	430,100
資産合計	714,079	負債及び純資産合計	714,079

個別注記表

【重要な会計方針】

1. 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

未成工事支出金

個別法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

貯蔵品

先入先出法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却方法

有形固定資産 (リース資産を除く)

定率法

但し、1998年4月1日以降取得した建物 (建物附属設備を除く) 並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっております。

無形固定資産 (リース資産を除く)

定額法

なお、ソフトウェア (自社利用) については社内における利用可能期間 (5年) に基づく定額法によっております。

リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

貸倒引当金

売上債権その他これに準ずる債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等の特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理方法

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。